デジタルビデオカメラ

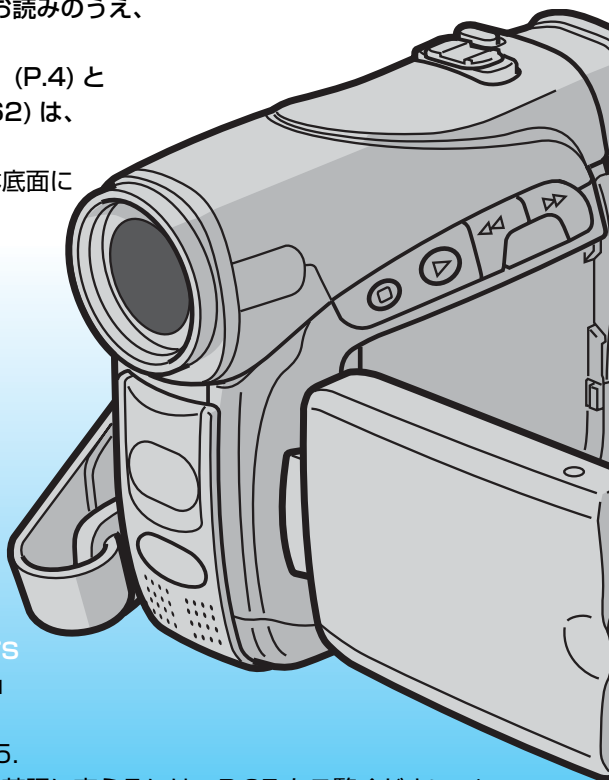
型名 GR-D250

取扱説明書

お買い上げありがとうございます。

ご使用のまえに

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に「使用上のご注意」(P.4) と「安全上のご注意」(P.62) は、必ずお読みください。

[本機の製造年は、本体底面に表示されています。]

For English Users

To change the Menu indications etc. to English, see page 25.
(本体画面の表示などを英語に変えるには、P.25 をご覧ください。)

Mini DV

LYT1369-001A

もくじ

はじめに

準備する

すぐ使う

もっと撮る

編集する

設定する

困ったときは

その他

使用上のご注意

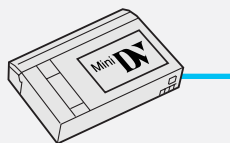
このビデオカメラについて

● DV 方式です。ほかの方式や従来式のビデオとは互換性がありません。

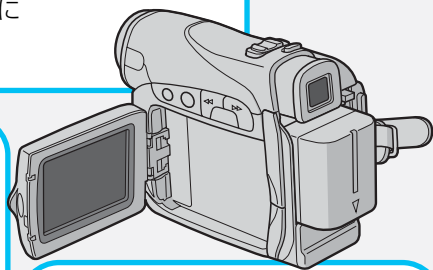
● **電源（バッテリーや AC アダプター）をはずすときは、必ず電源を切ってください。**
動作中にはずすと、テープの損傷や誤動作の原因となります。

● **使わないときは、電源を切ってください。**
入れたままだと表面が温かくなります。

● **長期間使わない場合は、テープを取り出し、電源を切り、バッテリーを取りはずしてください。**
ときどき電源を入れて、動作を点検してください。

● **次のような場所に置かないでください。**
・ 晴天時の閉め切った車内など、高温になる場所。
・ 直射日光が当たる場所。
・ ゴムまたはプラスチック製品に接触する場所。

液晶画面について

● **表面を強く押したり強い衝撃を与えないでください。**
傷がついたり、割れたりする場合があります。

● **小さく光る点（赤・青・緑）や黒い点は故障ではありません。**
テープには記録されません。

著作権について

● 録画・録音したビデオは個人として楽しむ以外は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

● 鑑賞・興行・展示物など、個人として楽しむ目的でも撮影を制限している場合があるので、ご注意ください。

テープについて

- 次のマークがあるものを使ってください。
  Mini DV
- 曲げたり、落としたり、強い力、衝撃、振動を与えないでください。
- 湿気が少なく、カビの発生しない場所に保管してください。

※ 不具合により正常に動作しないことがあります。内容の補償はご容赦ください。

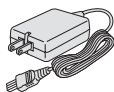
バッテリー（充電式電池）について

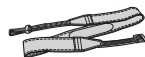
- 小型で高容量のリチウムイオンバッテリーです。
- 低温（10 ℃以下）では、使用できる時間が短くなったり、動作しないことがあります。
  冬場の屋外などでは、バッテリーをポケットに入れるなど温かくしてから取り付けます。カイロなどに直接ふれないよう、ご注意ください。
- 長期間保管するときは、バッテリーの劣化を防ぐため、次の操作で使いきってください。さらに、半年に 1 回程度充電し、再び使いきってから保管してください。
  1)テープを入れずに、電源スイッチを「撮影」にあわせる。
  2)電源が自動的に切れるまで待ち、バッテリーを取りはずす。
- 使わないときは、バッテリー残量が減るのを防ぐため、必ず取りはずしてください。
- 取りはずしたバッテリーは、バッテリーキャップを取り付け、約 15 ～ 25 ℃の乾燥したところに保管してください。
- バッテリーを処分する際は、充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。
  安全のため、バッテリーキャップを取り付けるか、端子部にセロハンテープなどを貼ってください。
  ・お問い合わせ：小形二次電池再資源化推進センター
  http://www.jbrc.com/
  ※見られない場合は、裏表紙のお客様ご相談センターへ

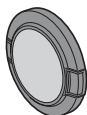
美しい環境維持にあなたも一役。リサイクルに協力しましょう。
ご使用済みの電池は廃棄しないで、充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

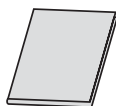
はじめにお確かめください

付属品

万が一、不足品がございましたら、お買い上げ店、またはサービス窓口にお問いあわせください。

ACアダプター
AP-V14
(LY21103-002B)

バッテリーパック
BN-VF707

ショルダーストラップ

AVコード

レンズキャップ

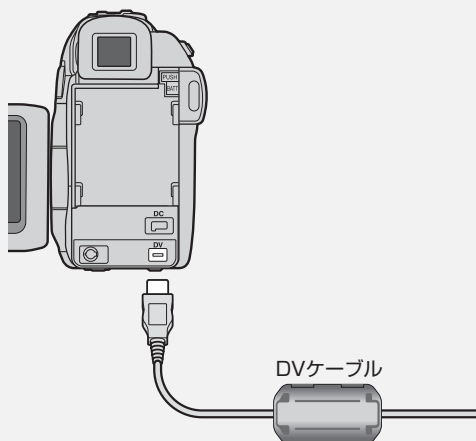
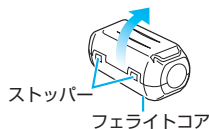
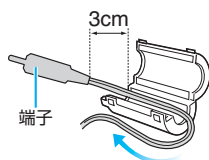
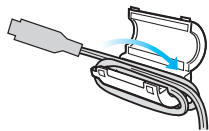
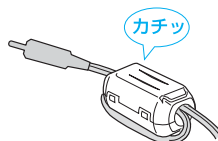
フェライトコア

取扱説明書
(本書)

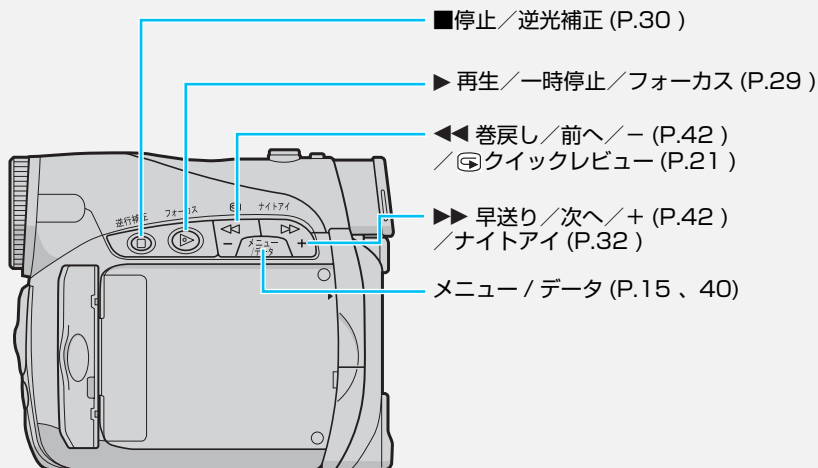
別売アクセサリー

詳しくはカタログをご覧ください。

バッテリーパック	BN-VF714
バッテリーパック	BN-VF733
バッテリーキット	VU-V840KIT
バッテリーキット	VU-V856KIT
バッテリーチャージャー	AA-VF7
DC コード	VC-VBN800
DV ケーブル	VC-VDV204
DV 動画編集パック	GV-DV1500

接続時のノイズをおさえるために

DV ケーブル (別売) をお使いの場合は、フェライトコアを必ず取り付けてください。本機と外部機器を接続したときに発生するノイズを軽減できます。

各部のなまえ

左側面

上面

ズーム (P.22) ／音量レバー

T	撮影時：大きく撮る
↕	再生時：音量大
W	撮影時：広く撮る
	再生時：音量小

静止画ボタン (P.33)

正面

底面

背面

右側面

M	: マニュアル撮影するとき
撮影	: オート撮影するとき
切	: 電源を切るとき
再生	: 再生や編集するとき

画面表示の見かた

撮影時の画面

ズーム倍率
(P.22)

オート撮影
(P.20 、28)

ナイトアイ
(P.32)

白バランス
(P.45)

明るさ補正
(P.30 、31)
逆光補正
スポット補正
数字 明るさ補正

プログラム AE
(P.43)

ズーム (P.22)

25×W T

画面明るさ − +

50m

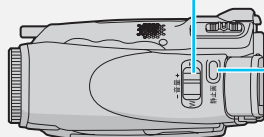
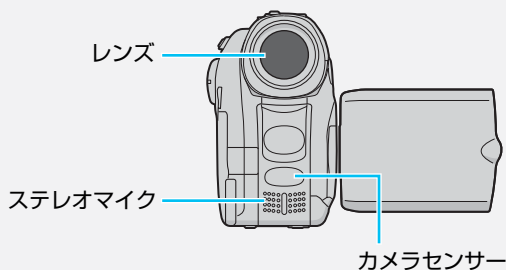
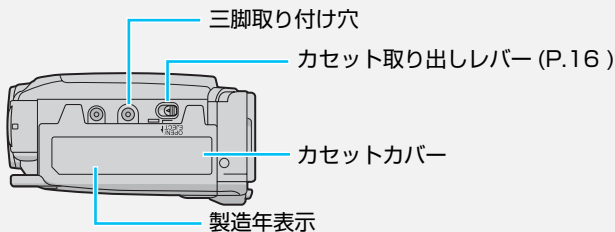
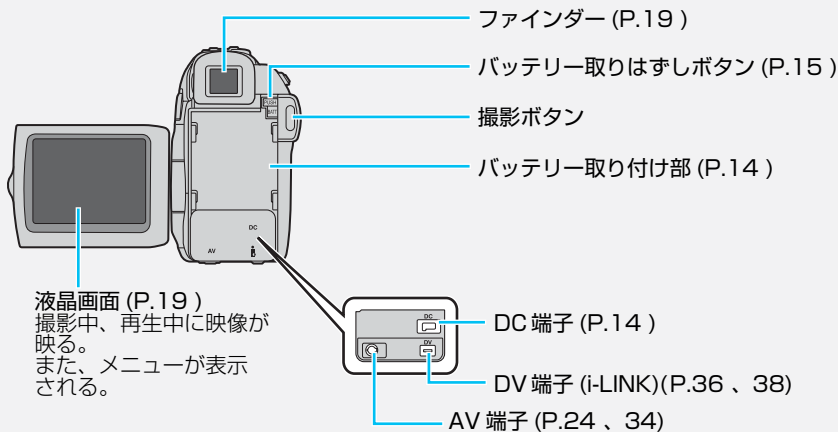
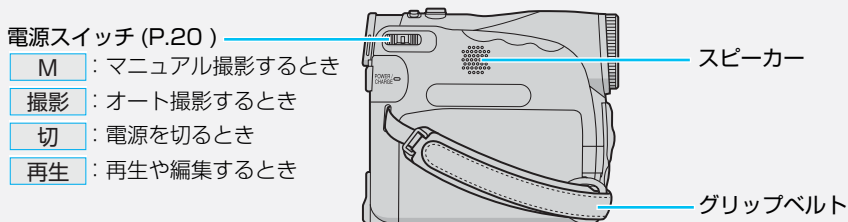
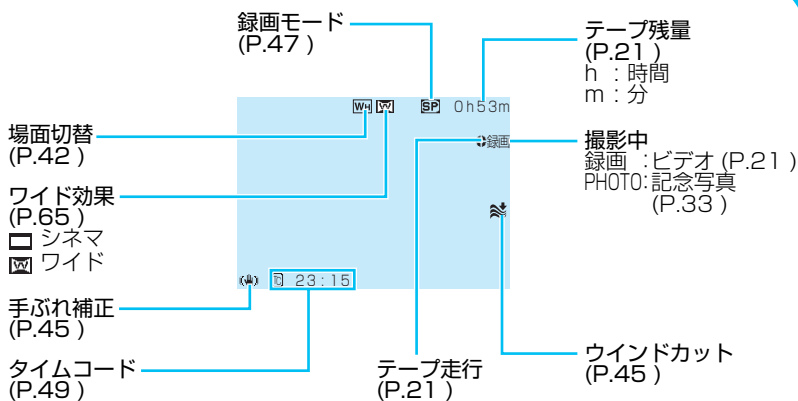
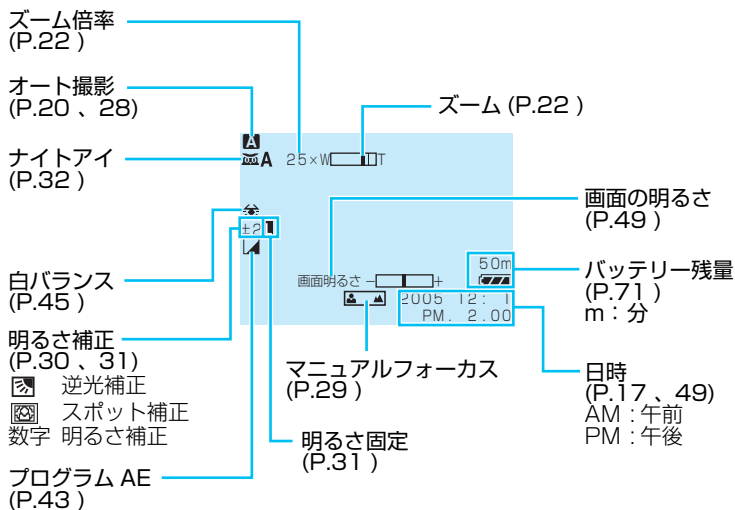
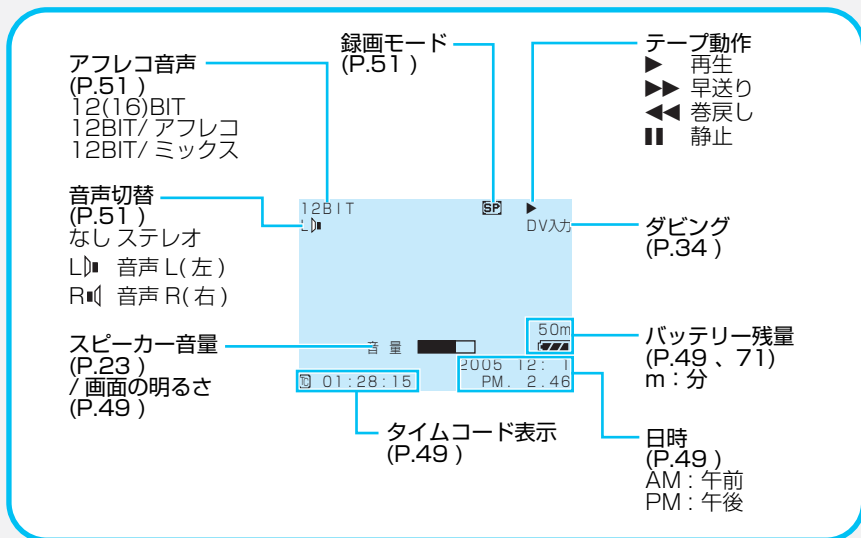
2005 12: 1
PM. 2.00

マニュアルフォーカス
(P.29)

明るさ固定
(P.31)

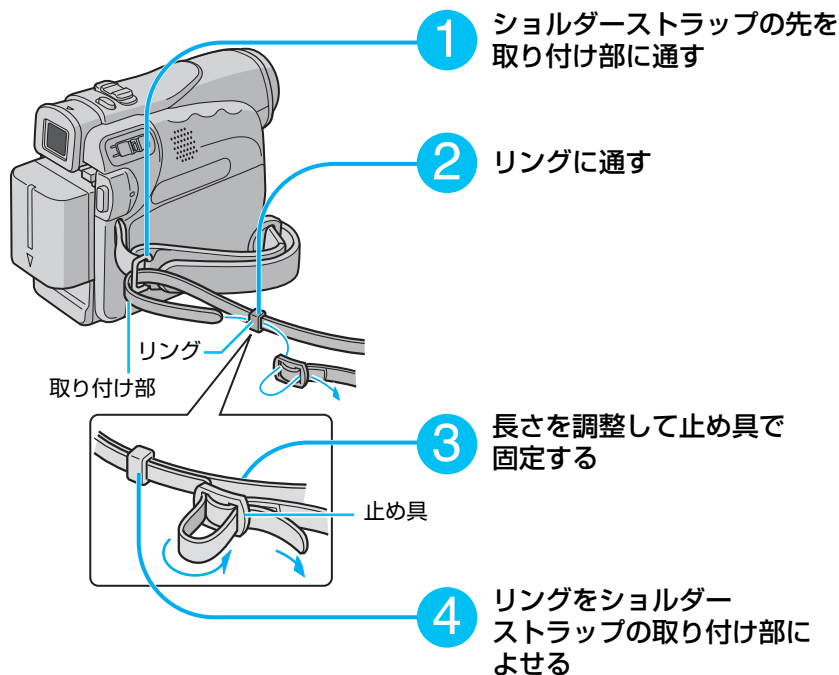
画面の明るさ
(P.49)

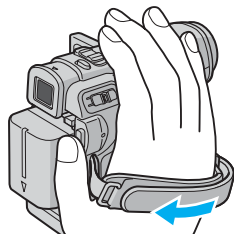
バッテリー残量
(P.71)
m : 分

日時
(P.17 、49)
AM : 午前
PM : 午後

再生時の画面

■日付などの表示を消すには
メニューで次のように設定する (P.49)。
・画面表示切替 :「切」または「モニター」
・日時表示 :「切」
・タイムコード :「切」

付属品を取り付ける

ショルダーストラップを取り付ける

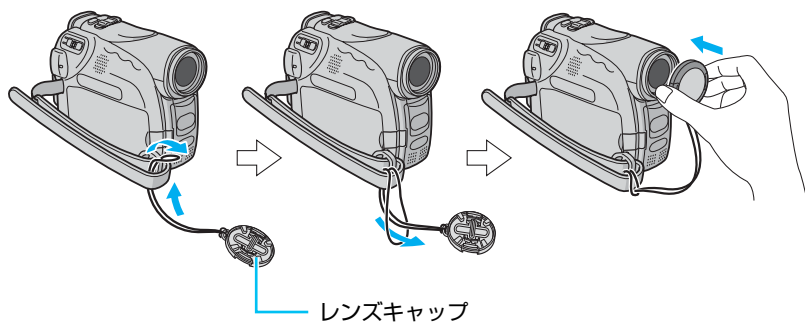
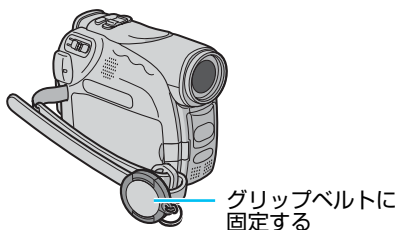
1. ショルダーストラップの先を取り付け部に通す
2. リングに通す
3. 長さを調整して止め具で固定する
4. リングをショルダーストラップの取り付け部によせる

グリップベルトを調節する

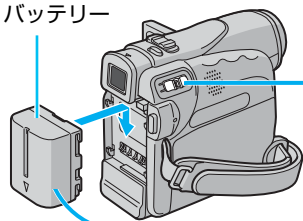
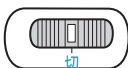
軽くにぎって安定するように調節しておくと、長時間でも楽に撮影できます。

レンズキャップを取り付ける

撮影しないときは、レンズの保護のために取り付けます。

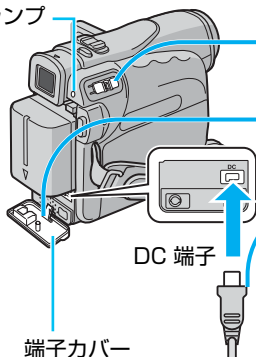
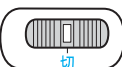
■撮影するときは

準備する 2

電源を準備する

バッテリーを取り付ける

最初にバッテリーパック (バッテリー) を取り付けてください。

AC アダプターで充電する

AC アダプターを取り付けて、撮影のまえにバッテリーを充電してください。

電源ランプ

1 「切」にする

2 開ける

3 差し込む

DC 端子

端子カバー

4 差し込む

電源ランプが点滅します

↓

電源ランプが消えたら、充電完了

AC アダプター

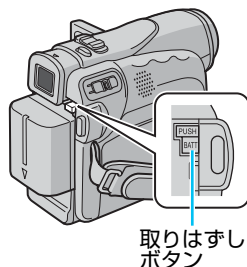
電源コンセント

■バッテリーを取りはずすには
「バッテリーを取り付ける」の手順 1 のあと、取りはずしボタンを押したまま、逆の動作で取りはずす。

取りはずしボタン

■充電が終わったら
AC アダプターをビデオカメラと電源コンセントから抜く。

■自宅で使うときなどは
AC アダプターを取り付けると、バッテリーの残量を気にせずに使うことができる。

■充電時間の目安
「充電時間の目安」(P.71) をご覧ください。

バッテリー残量を調べる

1 「切」にする

切

2 液晶画面を開ける
・ ファインダーで確認するときは、液晶画面を閉じる

3

バッテリー残量と撮影可能時間を表示する
・ 約 5 秒間表示します。
・ メニューボタンを約 2 秒間押し続けると、約 15 秒間表示します。

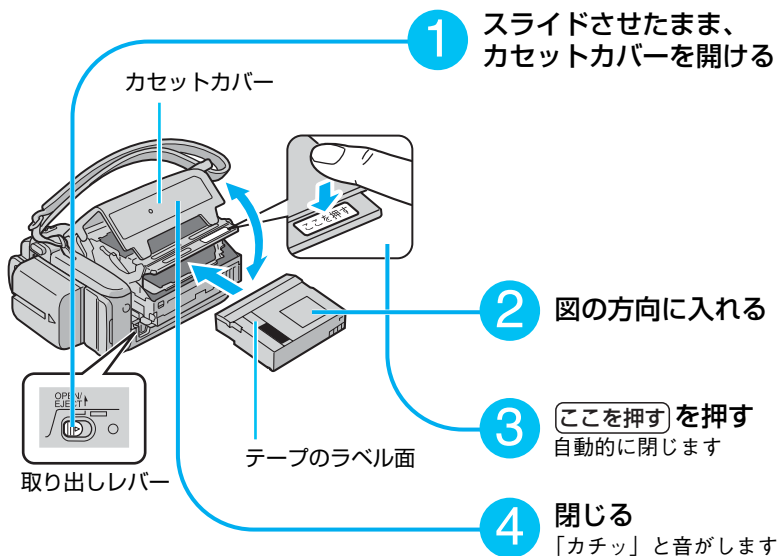
■通信エラーと表示されたときは
・ メニューボタンを何度か押してみる。
・ 電源 (バッテリーと AC アダプター) を取りはずし、再び取り付け、メニューボタンを押してみる。

それでも通信エラーと表示されるときは、お買い上げ店またはビクターサービス窓口にお問い合わせください。

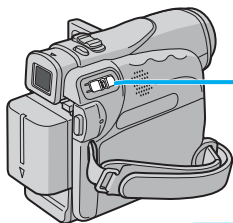
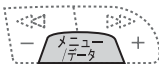
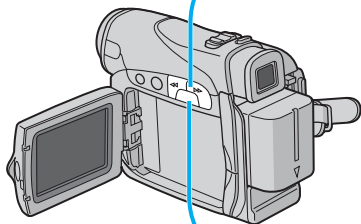
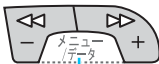
■より正しいバッテリー残量を得るには
バッテリー残量を正しく表示していないと思ったときは、バッテリーをいったん満充電にしてから使い切り、改めて充電する。
ただし、高温 / 低温で長時間使ったバッテリーや、何度も充電を繰り返したバッテリーでは、この操作を行ってもバッテリー残量を正しく表示できないことがあります。

準備する 3 テープを入れる

動画 (以下、ムービー) を撮影するには、ミニ DV カセットテープ (以下、テープ) を使います。

準 備
- ●バッテリーを取り付ける (P.14)
- ●AC アダプターで充電する (P.14)

■テープを取り出すには
手順 1 のあと、テープを取り出し、手順 3 と手順 4 を行う。

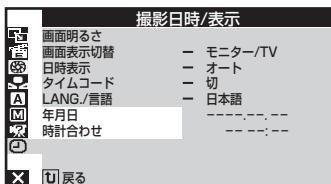
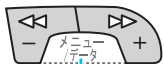
準備する 4 時計をあわせる

お買い上げ時に年月日と時刻表示を設定してください。
海外旅行の際にも設定することをお勧めします。

撮影日時/表示

画面明るさ		
画面表示切替	ー	モニター/TV
日時表示	ー	オート
タイムコード	ー	切
LANG./言語	ー	日本語
年月日		----.--.--
時計合わせ		-- --:--

「年月日時計合わせ」を選んで、

決定する

西暦が反転します

西暦を正しく設定し、

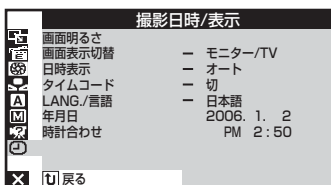
決定する

月日と時計の順に同様に設定し、

決定する

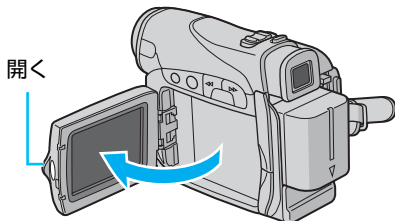
「⮌ 戻る」を選んで、

2 回決定する

撮影画面に戻ります

お知らせ ●時刻を設定しても「日時を設定して下さい」と表示され続けるときは、時計用の内蔵電池が消耗しています。お買い上げの販売店、または最寄りのビクターサービス窓口へご連絡ください。

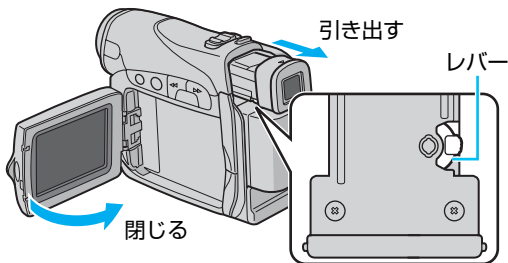
準備する 5 画面を準備する

液晶画面を使う

ファインダーと比べて、映像や表示内容が大きくて見やすい特徴があります。

■画面の明るさを調節するには
「画面明るさ」(P.49) をご覧ください。

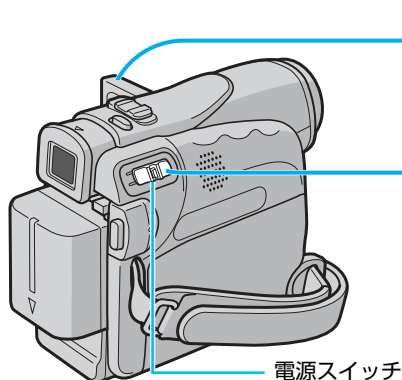
■自分を撮るには
液晶画面を開いたあと、図の方向へ180 度回す。
元に戻すときは、逆の方向へ回す。

ファインダーを使う

周りが明るすぎて液晶画面が見えにくいときや、バッテリーの消耗を防ぎたいときに使います。

■文字のピントがあっていないときは
ファインダーをのぞきながらレバーを動かし、文字がはっきり見えたところで止める。

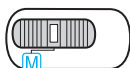
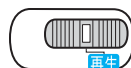
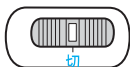
■画面の明るさを調節するには
「画面明るさ」(P.49) をご覧ください。

お知らせ ●液晶画面を開いてファインダーを引き出している場合、液晶画面にのみ表示されます。液晶画面を消してファインダーを表示させるには、メニューの「優先設定」を「ファインダー」に設定します (P.53)。

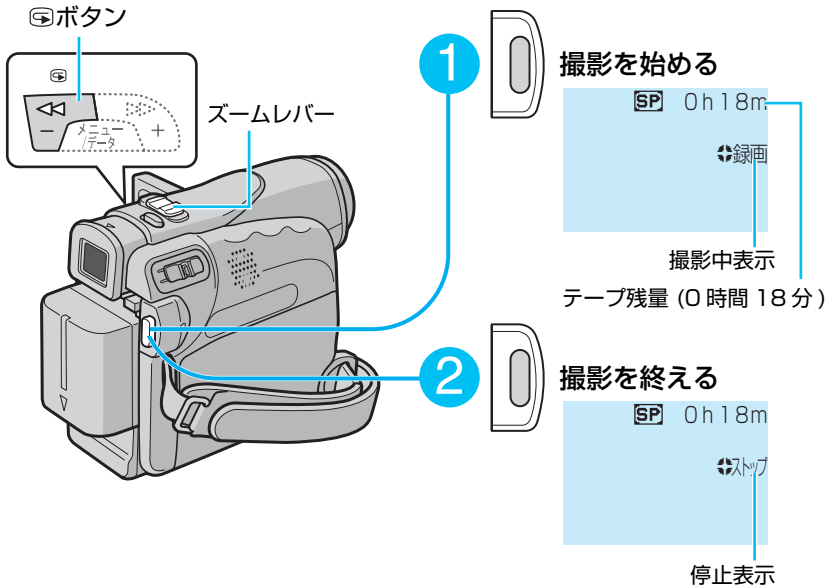
電源を入れる（電源スイッチ）

1 液晶画面を開く
（またはファインダーを引き出す）

2 押したままスライドして、マークにあわせる

● 手軽に撮るとき（オート撮影）
「撮影」にあわせる。

● 設定して撮るとき（マニュアル撮影）
「M」にあわせる。(P.28)

● 再生や編集するとき
「再生」にあわせる。

■ 電源を切るには
電源スイッチをスライドして、「切」にあわせる。

お知らせ ● 電源スイッチが「撮影」や「M」のときは、液晶画面の開閉やファインダーの出し入れで、電源の入／切ができます（クイックパワーオフ）。

すぐ使う 2 ムービーを撮る

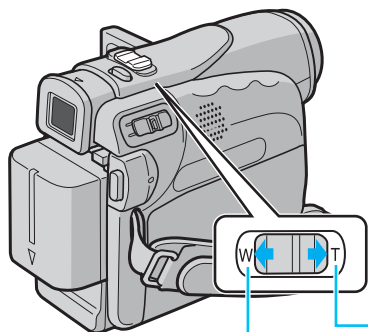
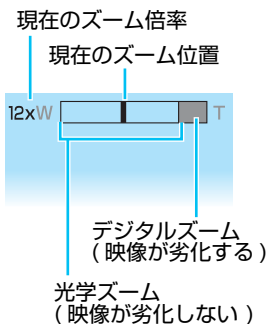
準 備 ●電源スイッチ：「撮影」または「M」

■続きから撮るには
ブランクサーチする (P.51)。

■撮影のまえに直前のムービーを確かめるには
クイックレビューボタン ( ) を押す。数秒分のテープが巻戻って再生され、再生が終わると元の状態に戻る。

お知らせ ●節電とテープ保護のため、操作せずに約 5 分経つと電源が自動的に切れます。撮影を再開するには、電源スイッチを動かすか、液晶画面を一度閉じて再び開きます。
●テープ残量が表示されるまで、 撮影開始から約 10 秒かかります。

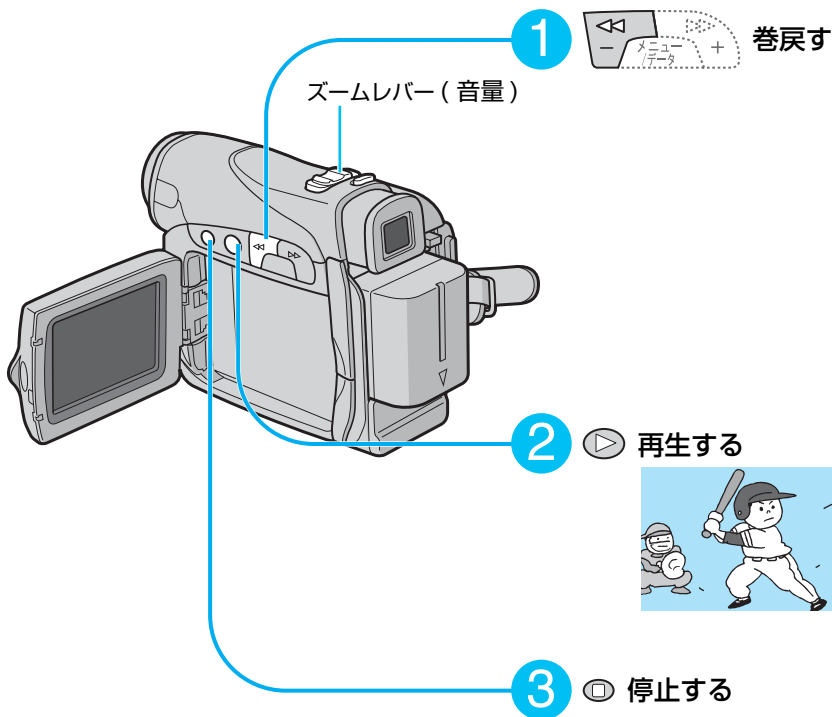
大きく／広く撮る ズーム

被写体を大きくしたり (望遠：T)、撮影する範囲を広くしたり (広角：W)、撮影中に自由に調節できます。

準備 ●電源スイッチ：「撮影」または「M」

■接写するには
W 側いっぱいまで動かす。被写体に約 5cm まで接近できます。

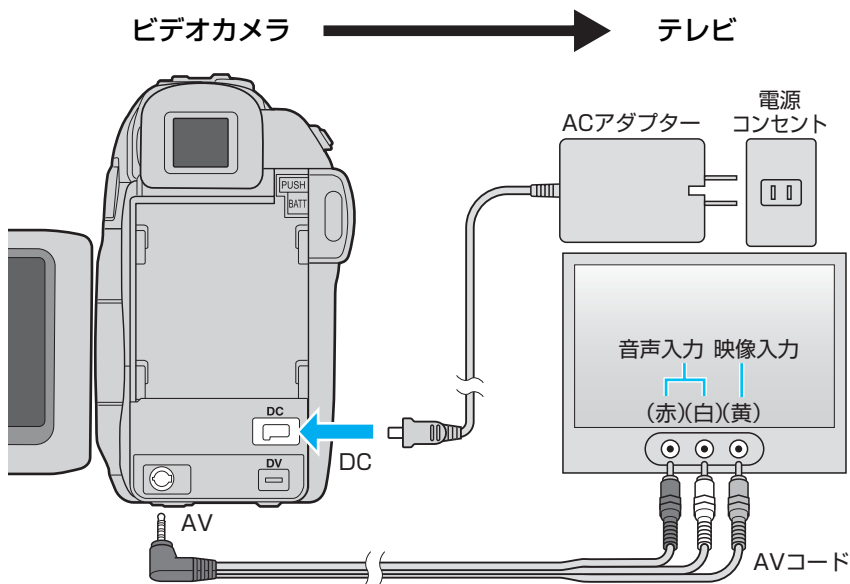
■デジタルズームを使わずに撮るには
ズーム倍率の上限を変更する (P.47)。

すぐ使う 3 ムービーを見る

準備 ●電源スイッチ：「再生」

■スピーカーの音量を調節するには
ズームレバーを動かす。

すぐ使う 4

テレビで見る

準備 ●テレビの表示を、ビデオカメラを接続した外部入力（ビデオ 1、ビデオ 2 など）にあわせる

■再生するには
ビデオカメラで見るときと同じ操作で再生する（P.23）。

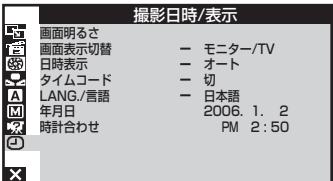
■日付などを表示するには
メニューで「画面表示切替」を設定する（P.49）。

お知らせ ●お使いのテレビの説明書もあわせてご覧ください。

For English Users

To change the Menu indications etc. to English.

POWER switch

"+" and "-" button

MENU button

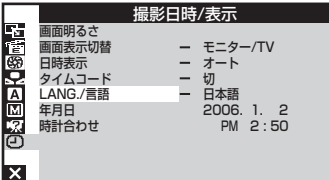
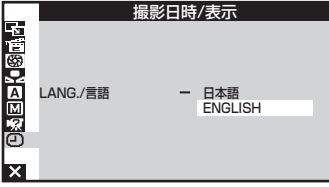
1 Set the POWER switch to "M"

while pressing down the LOCK button located on the switch.

M

Lock button

2 Press MENU button.

3 Press "+" or "-" button to select "🕘"

and press MENU button.

撮影日時/表示
画面明るさ
画面表示切替 − モニター/TV
日時表示 − オート
タイムコード − 切
LANG./言語 − 日本語
年月日 2006. 1. 2
時計合わせ PM 2 : 50

4

Press "+" or "-" button to select "LANG."

and press MENU button.

5

Press "+" or "-" button to select "ENGLISH"

and press MENU button.
The Menu indication changes to ENGLISH.

6

Press MENU button twice.

The Menu screen closes.

もっと撮る 1 撮影効果を演出する

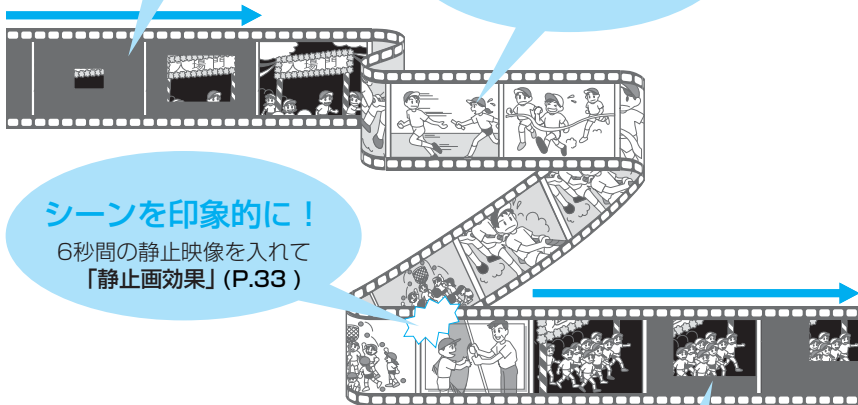
マニュアル撮影 (P.28) では、目的やシーンにあわせて撮影できます。効果の種類や設定方法については、「撮影効果メニュー」(P.42) をご覧ください。

始まりにひと工夫！
ワイプインで映像が登場
「ワイプ:ウインドウ」

スポーツには！
動きは速くてもハッキリ撮れる
「スポーツ」

シーンを印象的に！
6秒間の静止映像を入れて
「静止画効果」(P.33)

終わりにひと工夫！
ワイプアウトで映像も退場
「ワイプ:コーナー」

色々な効果を液晶画面で見るにはデモモードが便利！(P.53)

シーンの幕開けは…

フェードインで美しく演出
「フェーダー:白」

スポットライト

照明の中の人物を美しく!
「スポットライト」

違う場面の境目に

続けて撮っても自然につながる
「ワイプ:シャッター」

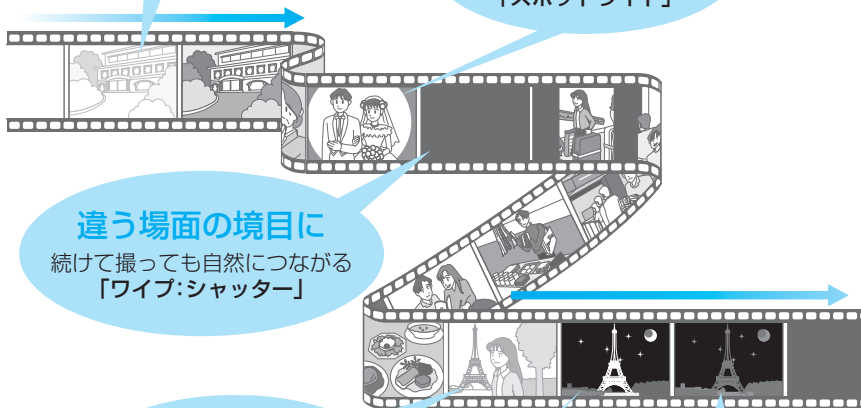
セピア色の思い出

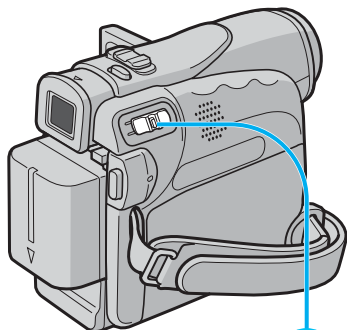
古い映画の雰囲気で…
「セピア」

シーンの幕引きに…

フェードアウトで更けてゆく夜を
「フェーダー:黒」

夜景もキレイ!

自然な映像で
「夜景」

マニュアル撮影をする

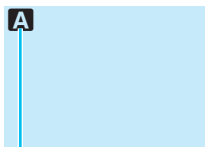
ピントを手動で調節したいときや、映像に効果（エフェクト）を加えて撮影したいときなどは、あらかじめマニュアル撮影に切り替えます。

1 押したままスライドして、「M」にあわせる

M

「撮影」から「M」に切り替えると、画面からオート撮影アイコンが消えます

マークが消える

2 調節または設定する

- ピントを手動であわせる (P.29)
- 暗いところで撮る (P.32)
- 明るさを補正する (P.30)
- 映像に変化をつける (P.33 , 42)
- その他を設定する (P.44)

3 撮影する (P.21)

お知らせ ●手順 2 の調節および設定は、電源スイッチを「撮影」にあわせると一時的に解除されます。しかし、電源スイッチを「M」に戻すと、再び同じ条件で撮影できます。

もっと撮る 3 ピントを手動であわせる（マニュアルフォーカス）

通常の自動撮影（オートフォーカス）でピントがあいにくい場合や、画面端の被写体にピントをあわせたいときなどに行います。

準備 ●電源スイッチ：「M」

1 マニュアルフォーカスに切り替える

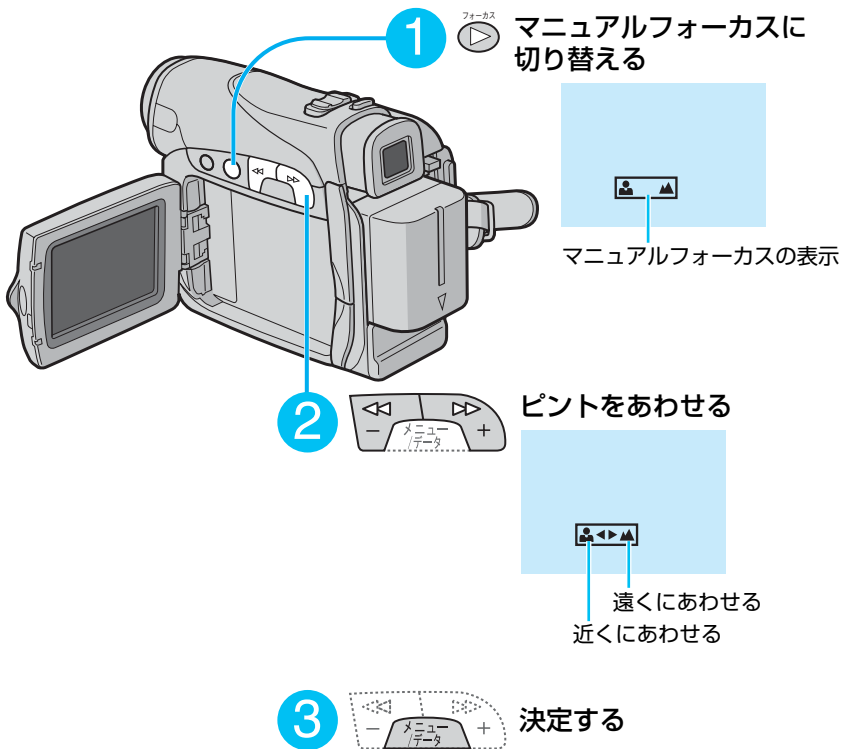
フォーカス

マニュアルフォーカスの表示

2 ピントをあわせる

遠くにあわせる

近くにあわせる

3 決定する

■オートフォーカスに戻すには
フォーカスボタン（▶）を押して表示を消す。

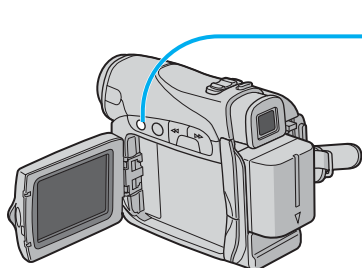
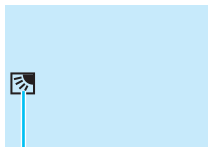
■ズームするときは
望遠（T）側でピントをあわせてから広角（W）側にズームすると、ピントがずれない。

もっと撮る 4

明るさを補正する

逆光で撮る 逆光補正

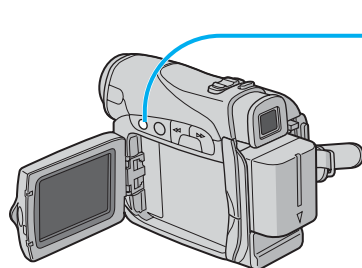
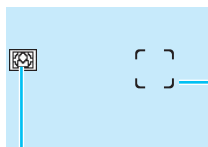
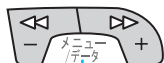
被写体の背後から光がさしているとき、被写体が暗くならないようにします。

準備 ●電源スイッチ：「M」

■通常の撮影に戻すには

や　が消えるまで、逆光補正ボタン（■）を押す。

最適な明るさにする スポット補正

逆光補正がうまくいかないときや、画面の一部にあわせて明るさを補正したいときなどに使います。

準備 ●電源スイッチ：「M」

2

スポット枠を左右に動かして明るさの基準にする場所を選び、

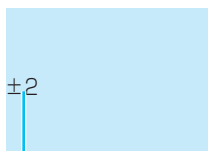
決定する

■通常の撮影に戻すには
や が消えるまで、逆光補正ボタン (■) を押す。

■明るさを固定するには
手順 2 でメニューボタンを 2 秒以上押し続け、 の隣に L を表示させる。

手動で明るさを補正する

準備 ●電源スイッチ：「M」

1 **メニューで「明るさ補正」を「マニュアル」に設定する (P.44)**

明るさ補正の表示 (ー 6 ～+ 6)

2

数値を調節し、

決定する

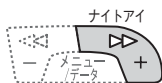
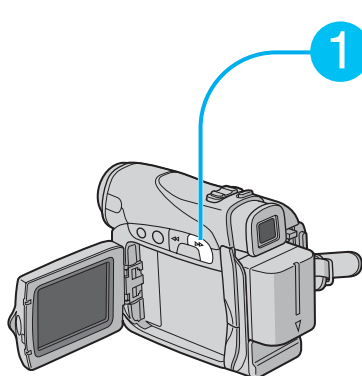
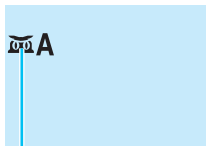
■通常の撮影に戻すには
メニューで「明るさ補正」を「オート」に設定する (P.44)。

■明るさを固定するには
手順 2 でメニューボタンを 2 秒以上押し続け、 の隣に L を表示させる。続いて、もう一度メニューボタンを押し、L を L にする。

もっと撮る 5

暗いところで撮る（ナイトアイ）

薄暗いところでは、より多くの光を取り込んで明るく撮影できます。

準備 ●電源スイッチ：「M」

■明るいときは
表示から「A」が消え、一時的に通常の撮影に戻る。

■通常の撮影に戻すには
ナイトアイボタン (▶▶) を押して を消す。

お知らせ ●シャッタースピードが遅くなるためにブレやすくなります。三脚などで固定することをお勧めします。
●真っ暗な場所では撮影できません。

もっと撮る 6 映像に変化をつける

静止画効果を入れる 記念写真

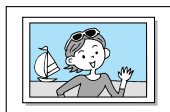
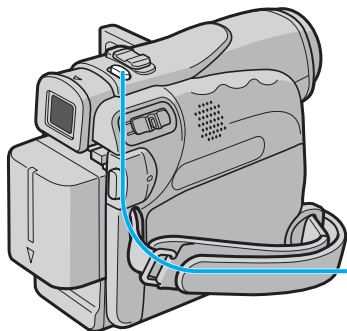
ムービーに静止映像を入れて、印象的な写真のような効果を出すことができます。

準備 ●電源スイッチ：「撮影」または「Ⓜ」

1 メニューで「静止画モード」を設定する (P.47)

フル

ネガ

ピンナップ

フレーム

2 静止画 撮影する
押した瞬間の画像が、6 秒間、静止したまま録画されます

■連写するには
「静止画」ボタンを押し続ける。

その他の効果を入れる

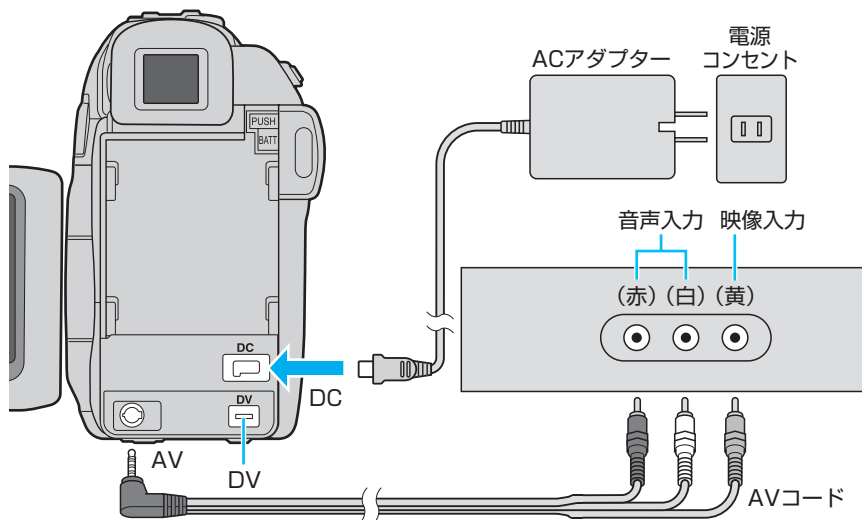
場面の変わり目でフェードインさせたり (場面切替)、古い写真のようにセピア色の映像を撮影したり (プログラム AE)、いろいろな効果を入れることができます (P.42 、43)。

編集する 1

ダビングする

ビデオカメラのテープから、ビデオ機器のディスクやテープへダビング (複製) して保存できます。

接続する

準 備 ●電源スイッチ：「切」

■デジタルダビングするときは
ビデオカメラの DV 端子と、ビデオ機器の DV 入力端子を、DV ケーブル (別売) で接続する。AV コードは使いません。
デジタルダビングでは、設定した効果やタイムコードはダビングされません。

お知らせ ●お使いのビデオ機器の説明書もあわせてご覧ください。

ダビング（複製）する

再生側（ビデオカメラ）	録画側（ビデオ機器）
	（ビクター製ビデオデッキの場合）

「再生」にする
電源が入ります

2 再生する

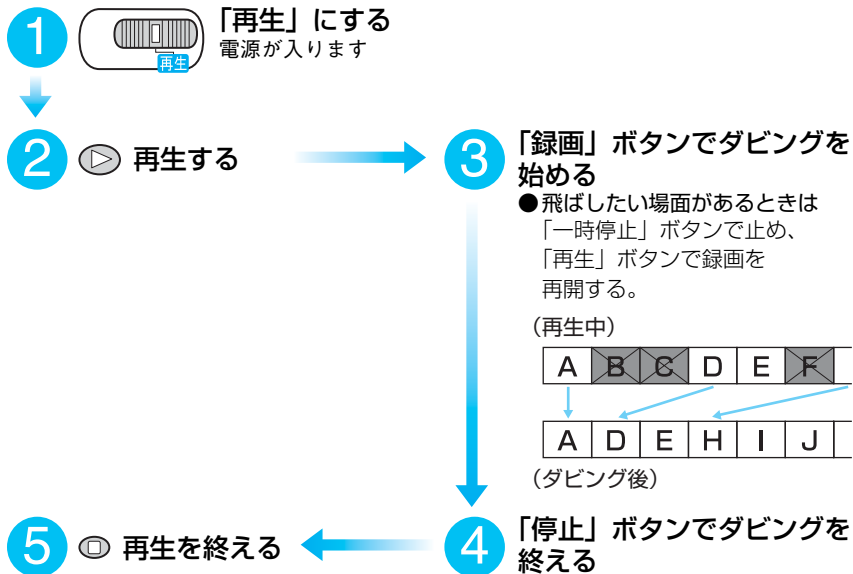
3 「録画」ボタンでダビングを始める

●飛ばしたい場面があるときは「一時停止」ボタンで止め、「再生」ボタンで録画を再開する。

（再生中）

（ダビング後）

4 「停止」ボタンでダビングを終える

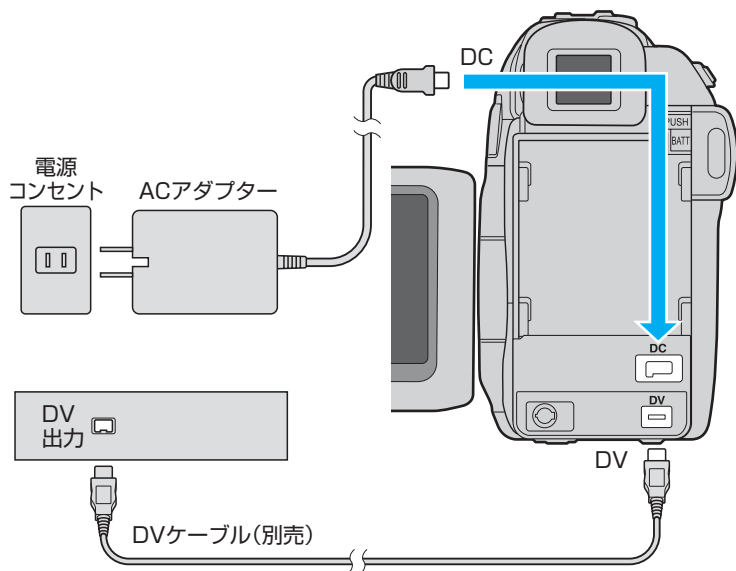
5 再生を終える

■日付などの表示を消すには
手順 1 のあと、メニューで次のように設定する (P.49)。
・画面表示切替：「切」または「モニター」
・日時表示　　：「切」
・タイムコード：「切」

お知らせ ●ビデオカメラで無記録部分や映像の乱れた部分を再生すると、異常な映像が記録されたり、ダビングが停止することがあります。

ビデオ機器から録画する

DV 出力端子のあるビデオ機器 (デジタルビデオカメラなど) を本機のほかにお使いの場合、その映像を DV ケーブル (別売) を使って本機へ録画できます。

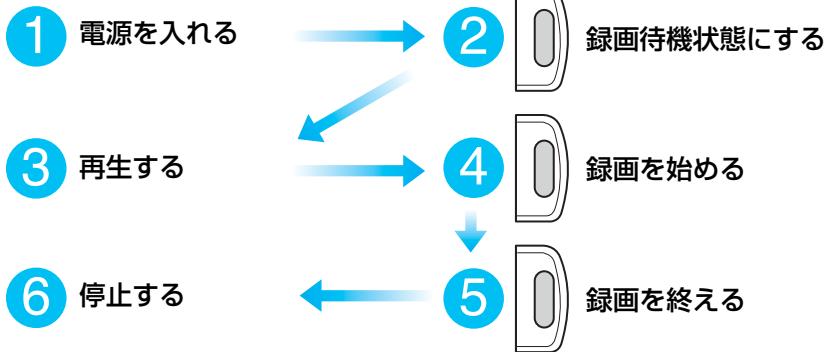
接続する

準 備 ●電源スイッチ：「切」

1 図のように接続する

2 「再生」にする

お知らせ ●お使いのビデオ機器の説明書もあわせてご覧ください。
●DV 出力端子のないビデオ機器からは、その映像を本機へ録画できません。

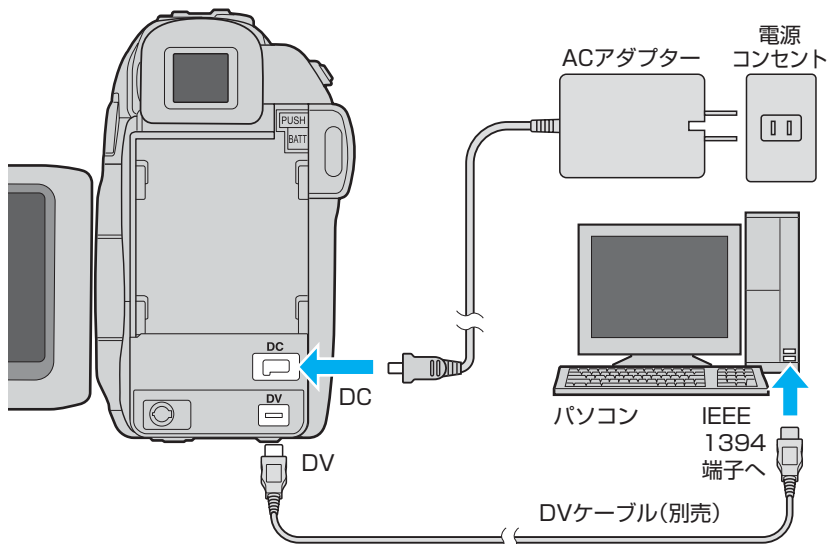
録画する

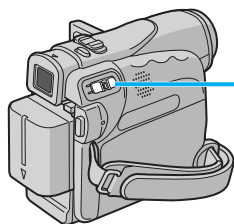
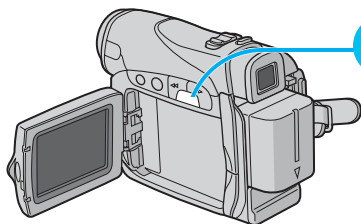
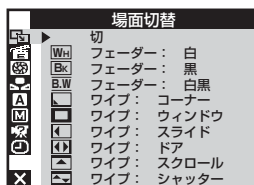
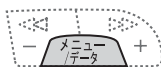
再生側（ビデオ機器）	録画側（ビデオカメラ）
1 電源を入れる	2 録画待機状態にする
3 再生する	4 録画を始める
6 停止する	5 録画を終える

お知らせ ●お使いのビデオ機器などや再生するテープにより、映像が乱れることがあります。

パソコンに接続する

別売のDV動画編集パックまたは市販のソフトウェアを使うと、IEEE1394端子を標準装備したパソコンに別売のDVケーブルでビデオカメラを接続して、ムービーをパソコンへ取り込むことができます。詳しくは、DV動画編集パックなどのマニュアルをご覧ください。

準備 ●電源スイッチ：「再生」

設定する 1

メニューを表示する

撮影の効果や色合い、光のバランスの変更、画面表示の切替え、編集作業など、お買い上げ時の設定を変えて操作できます。

■設定せずにメニューを消すには

「戻る」を選んで決定し、終了アイコン(✕)を選んでメニューを消す。

「戻る」がないときは、すでに選ばれている項目を選んで決定する。

■すべての設定をお買い上げ時の状態に戻すには

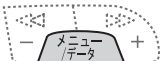
メニューの「プリセット」で「実行」を選ぶ(P.53)。

撮影のメニュー

準備 ●電源スイッチ：「M」

アイコン	メニュー	ページ
	場面切替	P.42
	プログラム AE	P.43
	明るさ補正	P.44
	白バランス	P.45
A	フルオート	P.47
M	マニュアル	P.45
	システム	P.53
	撮影日時 / 表示	P.49
✕	終了	–

●メニューを表示したとき、文字が消えている機能は使えません。

再生や編集のメニュー

準備 ●電源スイッチ：「再生」

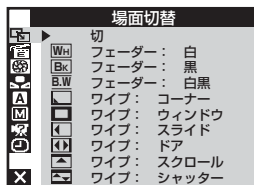
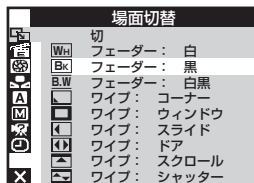
アイコン	メニュー	ページ
	ビデオ再生モード	P.51
	システム	P.53
	再生日時 / 表示	P.49
✕	終了	–

撮影効果メニュー

設定は「M」にあわせて撮影するときに効果があります。「撮影」にあわせたときは、一時的にお買い上げ時の設定に戻ります。

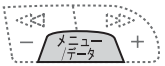
準備 ●電源スイッチ：「M」

1 メニューを表示する

2 下表か右表のアイコンを選び、決定する

3 メニュー項目を選び、決定する

■設定が終わったら
手順３で決定すると、メニューが消える。

お知らせ ●場面切替を設定したときは、撮影開始時(イン)と終了時(アウト)の撮影ボタンを押した直後に、それぞれの効果があらわれます。

メニュー項目	役割	ページ
場面切替		P.26
●切	場面切替を使わない。	
WH フェーダー：白	白い画面でフェードイン、フェードアウト。	
BK フェーダー：黒	黒い画面でフェードイン、フェードアウト。	
B.W フェーダー：白黒	白黒画面からカラー画面にフェードイン、カラー画面から白黒画面にフェードアウト。	

メニュー項目	役割
ワイプ：コーナー	映像が右上から左下にワイプイン、逆向きにワイプアウト。
ワイプ：ウィンドウ	映像が中央から外にワイプイン、逆向きにワイプアウト。
ワイプ：スライド	映像が右から左にワイプイン、逆向きにワイプアウト。
ワイプ：ドア	映像が中央から左右に開くようにワイプイン、閉じるようにワイプアウト。
ワイプ：スクロール	映像が下から上にワイプイン、逆向きにワイプアウト。
ワイプ：シャッター	映像が中央から上下に開くようにワイプイン、閉じるようにワイプアウト。

メニュー項目	役割	ページ
プログラム AE		P.26
●切	映像に変化をつけない。	
1/60 シャッター1/60	テレビ画面などを撮るときの、黒い帯が細くなる。	
1/100 シャッター1/100	蛍光灯のチラつきをおさえる。(50Hz 地域のみ)	
1/250～1/4000 シャッター1/250～1/4000	「スポーツ」でお好みの効果が得られないときに、手動で設定する。	
スポーツ	動きの速い被写体を、1 コマ 1 コマ鮮明に撮影できる。	
スノー	晴れた日の雪原など、周囲が明るい場所で選ぶ。	
スポットライト	スポットライトなどが当たって、被写体が明るく映りすぎるときに選ぶ。	
夜景	夜景などを撮るときに、自然な感じになる。	
セピア	古い写真のようにセピア色になる。	
B/W 白黒	白黒映画のようにモノクロになる。	
映画効果	速いコマ落としで、映画のような効果を出す。	
ストロボ	コマ落としで、連続写真のような効果を出す。	
ミラー	画面の左半分が左右反転した映像が、画面の右半分になる。	

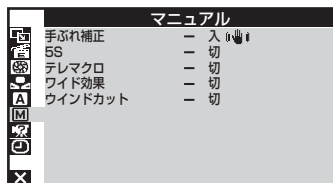
●印は、お買い上げ時の設定です。

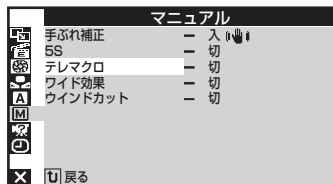
設定する 3 マニュアルメニュー

設定は「M」にあわせて撮影するときに効果があります。「撮影」にあわせたときは、一時的にお買い上げ時の設定に戻ります。

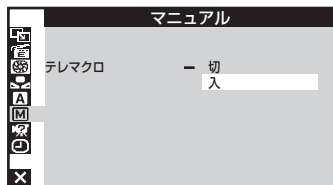
準備 ●電源スイッチ：「M」

1 メニューを表示する

2 下表か右表のアイコンを選び、

決定する

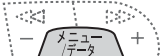
3 メニュー項目を選び、

決定する

4 選択肢を選び、

決定する

■設定が終わったら

「戻る」を選んで決定し、終了アイコン（✕）を選んでメニューを消す。

メニュー項目	役割	ページ
明るさ補正		
●オート	自動的に明るさを補正する。	P.31
マニュアル	−6～+6の範囲で、明るさを1刻みを補正する。	

メニュー項目	役割	ページ
白バランス		
●オート	自動的に色バランスを調節する。	–
ワンタッチ	被写体の色をより正確に調節する。 ①白い紙を用意し、画面全体に映し出す。 ②「」の点滅が止まるまで「決定ボタン」を押し続ける。	
はれ	晴れた日の屋外で撮影するときに選ぶ。	
くもり	曇りの日や日陰で撮影するときに選ぶ。	
ハロゲン	撮影用ライトなど、照明の下で撮影するときに選ぶ。	

メニュー項目	選択肢と役割	ページ
マニュアル		
手ぶれ補正	切 :設定しない。 ●入 :手ぶれによる映像のブレを低減する。 ・三脚などで固定して撮影するときは「切」にします。「入」にすると、不必要な補正が行われ、不自然な映像になることがあります。 ・次の場合は補正しきれないことがあります。手ぶれが大きいとき。被写体にコントラスト(明暗差)がほとんどないとき。映像にデジタル処理をしているとき。	–
5S	●切 :設定しない。 5S :5 秒間だけ撮影して一時停止する。(スナップショットムービー作成) アニメ :1/8 秒間だけ撮影して一時停止する。(アニメーション作成)	–
テレマクロ	●切 :ズームの T 側で 1m まで接近して撮影できる。 入 :ズームのT 側で60cmまで接近して撮影できる。	–
ワイド効果	●切 :設定しない。 シネマ :映画風に上下に黒い帯が入る。 ワイド :画面を上下方向に伸ばして撮影する。 ・ワイド効果を使って撮影した映像を再生するときは、お使いのテレビ側で画面サイズを切り換えてください。	–
ウインドカット	●切 :設定しない。 入 :風による雑音を低減する。	–

●印は、お買い上げ時の設定です。

設定する 4

フルオートメニュー

設定は「撮影」と「M」のどちらにあわせて撮影するときにも効果があります。

準備 ●電源スイッチ：「M」

1 メニューを表示する

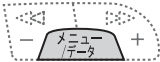
2 「A」を選び、決定する

3 メニュー項目を選び、決定する

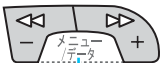
4 選択肢を選び、決定する

■設定が終わったら

「戻る」を選んで決定し、終了アイコン（✕）を選んでメニューを消す。

メニュー項目	選択肢と役割	ページ
フルオート		
録画モード	●SP: 標準モード (大切な録画に)。 LP :長時間モード。撮影時間が SP モードの 1.5 倍になる。	–
音声モード	●12BIT 16BIT :高音質で録音する。	–
ズーム	25 倍 :光学ズームのみ (画質が劣化しない)。 ●100 倍 :デジタルズームできる (倍率を上げると、画質が劣化する)。 200 倍 :デジタルズームできる (倍率を上げると、画質が劣化する)。	P.22
静止画モード	●フル :全面に静止画を表示する。 ネガ :写真のネガのように階調を反転する。 ピンナップ :白フチに影をつける。 フレーム :白フチをつける。	P.33
感度アップ	切 : 暗いときも自然のままの明るさで撮る。 ●AGC : 暗いときは電気的に明るさを調節する。 オート A : 暗いときに AGC よりも明るく調節する。	–

●印は、お買い上げ時の設定です。

設定する 5

撮影・再生日時 / 表示メニュー

設定は「撮影」「Ⓜ」「再生」のそれぞれで効果があります。

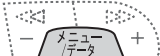
準備 ●電源スイッチ：「Ⓜ」（撮影用に設定するとき）
「再生」（再生用に設定するとき）

1 **メニューを表示する**

2 **「🕘」を選び、**
決定する

3 **メニュー項目を選び、**
決定する

4 **選択肢を選び、**
決定する

■設定が終わったら
「⤴戻る」を選んで決定し、終了アイコン (✕) を選んでメニューを消す。

メニュー項目	選択肢と役割	ページ
日時 / 表示		
画面明るさ	画面の明るさを調節する。調節バーが表示されるので、「＋ / −」ボタンで調節し、決定する。	P.19
画面表示切替	【撮影用】 モニター　:テレビやビデオ機器に、文字や記号を出力しない。 ●モニター /TV :テレビやビデオ機器に、画面と常に同じ表示を出力する。 【再生用】 切　:画面、TV、ビデオデッキに、文字や記号を出力しない。 ●モニター　:テレビやビデオ機器に、文字や記号を出力しない。 モニター /TV :テレビやビデオ機器に、画面と常に同じ表示を出力する。	P.11 P.24
日時表示	【撮影用】 切　:表示しない。 ●オート :電源を入れたときに 5 秒間表示する。 入　:常に表示する。 【再生用】 ●切　:表示しない。 オート :再生をはじめたときと、日付が変わったときに 5 秒間表示する。 入　:常に表示する。	P.11 P.24
タイムコード	●切 :表示しない。 入 :表示する。	P.11
LANG./ 言語	●日本語　:メニューを日本語で表示する。 ENGLISH :メニューを英語で表示する。	P.25
年月日時計合わせ (撮影時のみ)	年月日、時刻 : 年月日と時刻を設定する。	P.17

●印は、お買い上げ時の設定です。

設定する 6 ビデオ再生モードメニュー

設定は「再生」にあわせたときに効果があります。

準備 ●電源スイッチ：「再生」

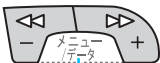
1 メニューを表示する

2 「📼」を選び、決定する

3 メニュー項目を選び、決定する

4 選択肢を選び、決定する

■設定が終わったら
「⮌戻る」を選んで決定し、終了アイコン (☒) を選んでメニューを消す。

メニュー項目	選択肢と役割	ページ
ビデオ再生モード		
音声切替	●ステレオ：左右の音声を両方とも再生する。 音声 L：左の音声のみ再生する。 音声 R：右の音声のみ再生する。	–
アフレコ音声	●切：撮影時の音声を再生する。 入：アフレコ音声が録音されたテープを再生するときに、アフレコ音声を再生する。 ミックス：撮影時の音声とアフレコ音声を同時に再生する。	–
録画モード	●SP：標準モード（大切な録画に）。 LP：長時間モード。撮影時間が SP モードの 1.5 倍になる。	–
ブランクサーチ	実行：5 秒間以上の無記録部分を探す。 ・無記録部分の約 3 秒手前で停止しますので、そこから録画をスタートすると、約 3 秒間映像が上書きされてしまいます。必要に応じて再生し、録画スタート位置を確認してください。	–

●印は、お買い上げ時の設定です。

設定する 7

システムメニュー

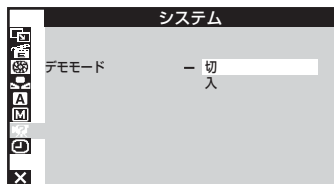
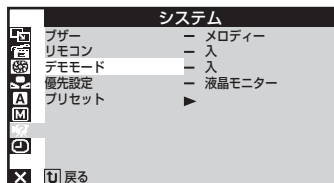
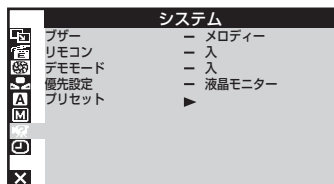
設定は「撮影」「M」「再生」のすべてに効果があります。

準備 ●電源スイッチ：「M」または「再生」

1 メニューを表示する

2 「」を選び、決定する

3 メニュー項目を選び、決定する

4 選択肢を選び、決定する

■設定が終わったら

「戻る」を選んで決定し、終了アイコン（）を選んでメニューを消す。

メニュー項目	選択肢と役割	ページ
システム		
ブザー	切　:操作音を消す。 ブザー　:一部の操作ではブザー音を鳴らす。 ●メロディー :操作するごとにメロディー音を鳴らす。	–
リモコン	切 :誤動作を避けるため、「切」を設定することをお勧めします。 ● 入:お買い上げ時の設定。	–
デモモード	切 :設定しない。 ●入 :ビデオカメラにテープを入れずに電源を入れると、プログラム AE などの効果をデモで確認できる。	P.43
優先設定	●液晶モニター : 液晶画面を優先的に表示する。 ファインダー :ファインダーを優先的に表示する。 ・ 液晶画面を開いてファインダーを引き出した場合、どちらを優先的に表示するかを設定します。	P.19
プリセット	実行 :メニューの設定をお買い上げ時の状態に戻す。	–

●印は、お買い上げ時の設定です。

故障かなと思ったら…

本機にはマイコンを使用しているため、周囲の雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。
→まず、以下の表にしたがって対応する。
→解決しないときは、電源（バッテリーと AC アダプター）を取りはずし、再び取りつける。
→それでも不具合があるときは、お買い上げ店、または ビクターサービス窓口へご相談ください。

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
再生中	**映像にノイズが出たり音声がおかしい** ●モザイク画（ブロック状のノイズ）がでる。 ●黒色やモザイク画の横しまがでる。 ●音声が途切れる。 ●音や映像がでない。 ●青い画面になる。 	●ビデオヘッドが汚れています。 →ミニ DV ヘッドクリーナー（別売）でクリーニングする。 →終わったら、撮影や再生をして確認する。 ミニ DV ヘッドクリーナー (M-DVSCL) 別売 ※ヘッドが磨耗するので、長時間繰り返しクリーニングしないでください。 ※詳しくはヘッドクリーナーの説明書をご覧ください。 ■数回クリーニングしても正常に再生されないとき 撮影時にビデオヘッドが汚れていたと考えられます。 ■美しく撮影するためには ●クリーニングカセットを持ち歩く。 ●撮影するまえに試し撮りをする。確認は必ず再生画像でしてください。撮影時に画面やファインダーに表示されている映像では、汚れなどの確認はできません。 ●1ヶ月に 1 回は使用する。 ●約 1000 時間の使用を目安に、お買い上げ店またはビクターサービス窓口へ定期点検にだす。	–

こんなときは		ここを確かめてください	ページ
再生中	映像が乱れる	●テープの無記録部分では映像が乱れることがあります。故障ではありません。	—
	巻戻しや早送りできない	●電源スイッチを「再生」にあわせる。	P.20
	テレビで再生されない	●テレビの入力切換でビデオ用に設定する。	P.24
電源	電源が入らない	●AC アダプターを正しく接続する。 ●バッテリーを充電する。 ●画面を開くか、ファインダーを引き出す。	P.14
撮影中	撮影できない	●テープの誤消去防止用つまみを「REC」にあわせる。 ●「テープ終り」と表示されていたら、テープを交換する。 ●カセットカバーを閉じる。 ●電源スイッチを「撮影」または「M」にあわせる。	P.16 P.20
	自動でピントがあわない	●電源スイッチを「撮影」にあわせる。 ●電源スイッチが「M」のときは、オートフォーカスにする。 ●暗いところや明暗差のないものを撮影しているときは、マニュアルフォーカスに設定して調節する。 ●レンズにゴミや水滴などがついているときは、ゴミや水滴をきれいに拭う。	P.20 P.29 P.68
	被写体が暗い	●ナイトアイを使う。 ●逆光補正ボタンを押す。	P.32 P.30

撮影中

こんなときは	ここを確かめてください	ページ
被写体が明るい	● 逆光補正を使っているときは解除する。 ● メニューの「プログラム AE」を「スポットライト」に設定する。 ● メニューの「明るさ補正」を「－」側に設定する。	P.30 P.43 P.44
被写体の色がおかしい	● 照明や背後にいろいろな光源があるときは、メニューの「白バランス」を「ワンタッチ」に設定する。	P.45
映像に明るい縦の線がでる	● 強い光の当たる被写体を撮影したときは、コントラストにより線がでることがあります。故障ではありません。	–
日時表示がでない	● メニューの「日時表示」を「入」に設定する。	P.49
デジタルズームできない	● メニューの「ズーム」を「25 倍」以外に設定する。	P.47
プログラム AE・場面切替が使えない	● 電源スイッチを「Ⓜ」にあわせる。	P.20
場面切替の「フェーダー：白黒」が使えない 白バランスが設定できない	● メニューの「プログラム AE」を「セピア」や「白黒」に設定しているときは使えません。	P.43

液晶画面・ファインダー

こんなときは	ここを確かめてください	ページ
画面が暗い、または白くなる	●画面の角度や明るさを調節する。 ●寒いところでは多少暗くなります。故障ではありません。 ●寿命が短くなっている可能性があります。お買い上げ店、またはビクターサービス窓口へご連絡ください。	P.49
画面の裏側が熱くなる	●画面または電源を切ってしばらく置く。（長時間使うとバックライトが熱くなります。故障ではありません。）	–
画面の表示にムラがでる	●画面やまわりを押したときは、手を離してしばらく置く。（圧迫すると映像ムラが生じます。）	–
アイコン表示が点滅または消える	●場面切替・プログラム AE・手ぶれ補正などの同時に使えない機能を選んでいるときは、どちらかの機能を使うのをやめる。	P.42 P.45
画面が見えにくい	●ファインダーを使う。（直射日光下など周囲が明るいと見えにくくなります。）	P.19
画面に表示されない	●画面を 180 度回転しているときは、確実に開く。 ●画面を使うときは、ファインダーを引き出さない。または、メニューの「優先設定」を「液晶モニター」に設定する。	P.19 P.53
ファインダーに表示されない	●画面を閉じる。または、メニューの「優先設定」を「ファインダー」に設定する。	P.53

こんなときは		ここを確かめてください	ページ
その他	充電中、ランプが点滅しない	● 低温や高温の環境で充電しているときは、許容動作温度の範囲内の環境で充電する。(範囲外の環境では、バッテリー保護のため充電を中止することがあります。)	P.70
	テープが入らない	● バッテリー残量を確認し、不足しているときは AC アダプターを接続する。 ● テープの向きを確認する。	P.15 P.16
	DV ケーブル接続時、操作できない	● 電源を切り、接続しなおしてから操作する。	—

■次の場合、故障ではありません

・ 太陽光が映ると、画面が一瞬赤か黒になる。

・ 画面やファインダーに黒い点、赤、青、緑の光る点がでる。
(画面には 99.99% 以上の有効画素がありますが、0.01% 以下の小さな点がでることがあります。)

こんな表示がでたら…

本機にはマイコンを使用しているため、周囲の雑音や妨害ノイズにより
正常に動作しないことがあります。
→まず、以下の表にしたがって対応する。
→解決しないときは、電源（バッテリーとACアダプター）を
取りはずし、再び取りつける。
→それでも不具合があるときは、お買い上げ店、または
ビクターサービス窓口へご相談ください。

表示	ここを確かめてください
露が付きました しばらく お待ち下さい （交互に表示され、動作が停止）	●テープを出し入れせずに1時間以上待ち、メッセージが消えてから使う。 ※消えない場合は、お買い上げ店、またはビクターサービス窓口へご相談ください。

■つゆつきとは

冷えたビールをコップに注いだときのように、まわりに水滴が付着する状態のこと。本機で発生すると、心臓部のヘッドドラムのまわりに水滴が付着し、テープが貼りついてしまう。

■こんなときに起こりやすい

- ●湿気の多いとき。
- ●部屋を暖房した直後。
- ●寒いところから暖かいところに急に移動したとき（エアコンなどの冷風が直接当たるところから暑い屋外への移動など）。

■つゆつきを防ぐには

- ●温度や湿度の違うところに移動したときは、ビデオカメラとテープをしばらく置き、環境になじませてから使う。
- ●例えばスキー場で撮影後、暖房の効いた部屋に入った場合は、ビニール袋などで密封し、しばらく置いて室温になじませる。

お知らせ

- ●メッセージの表示前でもレンズや保護ガラスに水滴がついている場合、ヘッドドラムにも水滴が付着している可能性があります。カセットカバーを開けないでください。
- ●寒冷地帯ではつゆが凍結し、霜になることがあります。またメッセージが消えるまで時間がかかることがあります。

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
全般	01、02、06	●バッテリーと AC アダプターを取りはずして付け直し、表示が消えてから使う。	P.14
全般	03、04	●テープを取り出して入れ直し、表示が消えてから使う。	P.16

■01 ～ 06 について
動作させて同じ表示がでなければ問題ありません。
2、3 回繰り返しても表示が消えないときは、テープは取り出さず、お買い上げ店、またはビクターサービス窓口へご相談ください。

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
全般	日時を設定して下さい	●日時を設定し直す。再び表示されたら、お買い上げ店、またはビクターサービス窓口へご相談ください。	P.17
全般	バッテリー残量がありません	●AC アダプターを接続する。	P.14
全般	撮影中は変更できません	●撮影を一度停止してから操作する。	–
全般	クリーニングカセットを試して下さい	●ミニ DV ヘッドクリーナー（別売）でクリーニングする。	P.54
全般	レンズキャップ	●レンズキャップを取りはずす。	P.13
テープ	テープへ記録できません	●テープのツマミを「REC」にあわせる。	–
テープ	コピーガードがかかっています	●コピーガードのかかっている映像はダビングできません。	–

こんなときは		ここを確かめてください	ページ
テープ	テープ終り	●テープを交換するか、巻戻す。	–
	HDV	●HDV 規格で記録した映像です。本機では再生できません。 ●テープを交換するか、早送り／巻戻しで再生できる部分を探す。 ●不要な映像の場合は、上書きして撮影する。	–

安全上のご注意

ご使用になる方やほかの人々への危害や損害を防ぐために、必ずお守りいただきたいことを説明しています。

 危険 人が死亡、または重傷を負う可能性が切迫して生じるおそれがあるもの。

 警告 人が死亡、または重傷を負う可能性があるもの。

 注意 人が重傷を負う、または物的損害が生じる可能性があるもの。

絵表示について

 注意・警告が必要な事項。（図中に具体的な注意内容）

 禁止されている事項。（図中に具体的な禁止内容）

実行して頂きたい事項。（図中に具体的な実行内容）

万が一こんなときは

バッテリーをはずす／電源プラグを抜く

- 煙が出たり異臭がするとき
- 落下などにより壊れたとき
- 内部に水や異物が入ったとき
  （そのまま使用すると火災や感電の原因）

販売店に修理を依頼してください

⚠危険

バッテリー

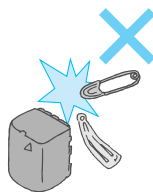
絶対に分解、加工、加熱、火中投入などをしない

- 液漏れ、発熱、破裂、発火による火災やけがの原因となります。

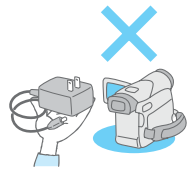
端子部に金属物（ネックレス、ヘアピンなど）を接触させない

- ショートによる発熱で火災や、やけどの原因となります。
- 持ち運びのときは、必ずバッテリーにキャップを付けてください。

高温（60 ℃以上）になる場所に置かない

- 発熱、破裂、発火による火災やけがの原因となります。

AC アダプター

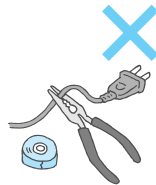
本機以外に使わない
●火災や故障、感電の原因となります。
●本機用のものか確認してからご使用ください。

分解や改造をしない
●火災や感電の原因となります。
●お客様による点検、整備、修理は危険です。販売店にご依頼ください。

⚠警告

バッテリー

液もれしていたら使わない
●ショートによる発熱で、やけどの原因となります。
●本体取り付け部をよくふいて、バッテリーを交換してください。
●液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流してください。
●万一液が目などに入ったときは、きれいな水でよく洗った後、ただちに医師に相談してください。

ぬれたバッテリーは使わない
●故障、感電、発熱、発火の原因となります。

電源コードを傷つけない
●火災や感電の原因となります。
●次のようなことは電源コードが傷む原因になります。
コードを持って抜く、加工する、
無理に曲げる、ねじる、引っ張る、
重いものを載せる、加熱器具に近づける。

電源コードが傷んだときは電源プラグを抜く
●販売店に修理を依頼してください。
●芯線が露出したり、断線したまま使用すると、火災や感電の原因となります。

雷が鳴り出したら、電源プラグにふれない
●感電の原因となります。

AC アダプター		**電源プラグは根元までしっかり接続する** ●火災や感電の原因となります。 ●接触不良で発熱することがあります。
		電源プラグにホコリや金属を付着させない ●火災や感電の原因となります。 ●付着しているときは電源プラグを抜き、取り除いてください。
本体		**なかに金属や燃えやすいものや、水などの液体を入れない** ●火災や感電の原因となります。
		●特にテープの出し入れ口に注意願います。 ●降雨・降雪中、海岸・水辺などでは水が入らないよう、ご注意ください。 ●ふろ場では使用しないでください。
		内部の部品にさわらない ●感電や故障の原因となります。 ●テープの出し入れ口から見える部品に触らないでください。
		機器を接続するときは、電源を切る ●感電や故障の原因となります。
		分解や改造をしない ●火災や感電の原因となります。 ●内部の点検、整備、修理は販売店にご依頼ください。
		運転中に使用しない ●交通事故の原因となります。 ●自動車などを運転しながらの撮影・再生はしないでください。
		レンズやファインダーを直射日光などの強い光源に向けない ●火災や故障の原因となります。 ●集光により、内部部品が破損、過熱することがあります。

⚠注意

バッテリー		**充電中に長時間ふれない** ●低温やけどの原因となります。 ●間違ってふれないような場所で充電してください。
ACアダプター		**ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない** ●感電の原因となります。
		充電中に長時間ふれない ●低温やけどの原因となります。 ●間違ってふれないような場所で充電してください。
		コードはつまずかないように配置する ●製品の落下や転倒によるけがの原因となります。
本体		**次のような場所には置かない、使わない** ●浜辺など砂ボコリの多いところ。 ●湿気やホコリの多いところ。 ●調理台や加湿機のそばなど、油煙や湯気の当たるところ。 ●熱器具の近くや直射日光の強いところなど高温になるところ。 ●火災や感電、故障の原因となります。
共通		**移動するときは、電源プラグや接続コードをはずす** ●コードの損傷による火災ややけどの原因となります。
		長期間使わないときや、お手入れするときはバッテリーをはずし、電源プラグを抜く ●感電の原因となります。 ●電源が「切」でも機器には電気が流れています。
		5 年に一度は販売店に内部点検を依頼する ●内部のホコリに電気が流れ、火災や感電の原因となります。 ●湿気の多くなる梅雨期のまえが効果的です。
		飛行機内での使用は、航空会社の指示に従う ●本機の電磁波などが、計器に影響を与えるおそれがあります。
アクセサリー		**指定のアクセサリーを使う** ●火災や感電の原因となります。 ●本機用のものか、確かめてお使いください。

保証とアフターサービス

保証書 別添付

保証書を販売店から受け取る際は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめください。その後、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。保証期間は、お買い上げ日から１年間です。

補修用部品の最低保有期間

当社は、デジタルビデオカメラの補修用性能部品を、製造打ち切り後、最低８年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

お買い上げの販売店または最寄りのビクターサービスにお問い合わせください。最寄りのビクターサービスは、別紙の「ビクターサービス窓口案内」にてご確認ください。

愛情点検	●長年お使いのカメラの点検をぜひ！	熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。

このような症状はありませんか	●再生しても映像や音声がでない ●異常な臭いや音がする ●水や異物が入った ●その他の異常や故障がある

ご使用を中　止	故障や事故防止のため、電源を切り、必ず販売店に点検をご相談ください。

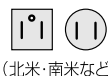
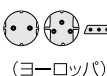
修理を依頼される場合 持込修理

「故障かなと思ったら…」(P.54) に従って調べてください。
異常があるときは、電源を切り、必ずバッテリーと AC アダプターを取りはずしてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。本機・DV カセットテープなどの万一の不具合により、正常に録画・録音・再生ができない場合、内容の補償についてはご容赦ください。

■ご連絡していただきたい内容

品　　名	デジタルビデオカメラ
型　　名	GR-D250
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご　住　所	
お　名　前	
電話番号	(　)　－

■保証期間中は
修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店にて修理させていただきます。

■保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料修理させていただきます。

日常のお手入れ／海外で使うときは

お手入れのまえに、バッテリーとACアダプターを取りはずしてください。

<table>
<tr><td rowspan="2">本体</td><td colspan="2">●乾いた柔らかい布などで汚れを拭き取る。
●汚れがひどい場合は薄めた中性拭き取る。</td></tr>
<tr><td>ご注意</td><td>●ベンジンやシンナーは使わない。損傷や故障の原因になります。
●化学ぞうきんや洗剤を使う場合は、製品の注意書きに従う。
●ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしない。</td></tr>
<tr><td>レンズ・液晶画面</td><td colspan="2">●市販のレンズブロワーでホコリを落とし、市販のクリーニングクロスなどで汚れを拭く。汚れたまま放置しておくと、カビ発生などの原因になります。</td></tr>
</table>

本機は海外でも、ACアダプターを使ってバッテリーを充電したり、コンセントから直接電源を確保できます。ただし、コンセントの形状は国によって異なりますので、変換プラグが必要です。

訪問国にあった変換プラグをご用意ください

コンセントの形状（主な使用国）	（北米・南米など）	（オーストラリア）	（ヨーロッパ）		
使用する変換プラグ	必要ありません				

次の訪問国では、現地のテレビでも再生できます

映像・音声入力端子付きテレビが必要です。詳しくは「テレビで見る」(P.24)をご覧ください。

■アメリカ合衆国
■韓国
■コスタリカ
■トリニダード・トバコ
■バハマ
■フィリピン
■ペルー
■ミクロネシア
■エクアドル
■キューバ
■コロンビア
■ドミニカ
■バミューダ
■プエルトリコ
■ホンジュラス
■ミャンマー
■エルサルバドル
■グァテマラ
■スリナム
■ニカラグア
■バルバドス
■米領サモア
■ボリビア
■チリ
■カナダ
■グアム
■台湾
■ハイチ
■パナマ
■ベネズエラ
■メキシコ

仕様

一般

電源	ACアダプター使用時　DC 11V バッテリー使用時　DC 7.2V
消費電力	ファインダー使用時　3.2W 液晶画面使用時　4.2W
外形寸法	56mm × 94mm × 112mm (幅×高さ×奥行き)
質量	本体　約430g 撮影時　約510g (バッテリーBN-VF707、60分テープ、レンズキャップを含む)
動作環境	許容動作温度　0℃～40℃ 許容相対湿度　35%～80% 許容保存温度　-20℃～50℃

カメラ部

映像素子	1/6型68万画素CCD 撮像エリア：34万画素
レンズ	F1.8～F3.2、f = 2.2mm～55mm (35mmカメラ換算　42mm～1050mm)
フィルター径	27.0mm (ネジピッチ0.5mm)
最低照度	20ルクス (ナイトアイ時：約1ルクス)

液晶部／ファインダー部

液晶画面	2.5型、11.2万画素、アモルファスカラー液晶
ファインダー	0.16型、11.3万画素、ポリシリコンカラー液晶

■撮影時のズーム仕様

光学ズーム	25倍まで
デジタルズーム	200倍まで

デジタルビデオカメラ部

録画／再生方式	DV 方式 (SD 仕様) 映像：デジタルコンポーネント記録 音声：PCM デジタル記録、32kHz 4 チャンネル (12BIT)、48kHz 2 チャンネル (16BIT)、44.1kHz(再生のみ)
信号規格	NTSC 日米標準信号方式
使用カセット	ミニ DV カセット
録画／再生時間	SP モード：80 分、LP モード：120 分 (80 分テープ使用時)
早送り／巻戻し	約 3 分 (60 分テープ使用時)

端子部

DV 端子	4 ピン (i.LINK/IEEE1394 準拠)
AV 端子	映像端子 アナログ出力 (1.0V(p-p)、75Ω) 音声端子 ステレオ・アナログ出力 (300mV(rms)、1kΩ)

AC アダプター AP-V14

電源	AC 100V― 240V、50Hz ／ 60Hz
入力容量	23VA(100V)、31VA(240V)
出力	DC11V、1A
許容動作温度	0 ℃～ 40 ℃ (充電時は 10 ℃～ 35 ℃)
外形寸法	50mm × 27mm × 71mm (幅×高さ×奥行き) (コードと AC プラグを含まず)
質量	約 100g

バッテリー BN-VF707

電圧	DC 7.2V
容量	700mAh
外形寸法	38mm × 23mm × 41mm (幅×高さ×奥行き)
質量	約 55g

■充電時間の目安

バッテリー	時間
BN-VF707(付属)	1 時間 30 分
BN-VF714(別売)	2 時間 40 分
BN-VF733(別売)	5 時間 40 分

※室温 10 ℃〜 35 ℃の範囲を想定しています。表の数字は目安です。

■実撮影時間の目安

バッテリー	ファインダー使用時	液晶画面使用時
BN-VF707(付属)	45 分	35 分
BN-VF714(別売)	1 時間 30 分	1 時間 10 分
BN-VF733(別売)	3 時間 35 分	2 時間 45 分
VU-V840KIT(別売)	4 時間 10 分	3 時間 10 分
VU-V856KIT(別売)	5 時間 55 分	4 時間 30 分

■連続撮影時間の目安 (最大撮影時間)

バッテリー	ファインダー使用時	液晶画面使用時
BN-VF707（付属）	1 時間 25 分	1 時間 5 分
BN-VF714（別売）	3 時間	2 時間 20 分
BN-VF733（別売）	7 時間 5 分	5 時間 25 分
VU-V840KIT（別売）	8 時間 20 分	6 時間 20 分
VU-V856KIT（別売）	11 時間 50 分	9 時間 5 分

※VU-V840KIT および VU-V856KIT は、バッテリーを付属のバッテリーポーチに入れ、別売の DC コード (VC-VBN800) でバッテリーポーチとビデオカメラを接続して使います。バッテリーをビデオカメラに直接取り付けることはできません。
※撮影条件により、撮影可能時間は変化します。表の数字は目安です。

お知らせ
- 撮影時間は、ズームを使ったり、撮影と撮影停止を繰り返すことなどで短くなります。撮影予定時間の約 3 倍分のバッテリーを用意することをお勧めします。
- 実撮影時間は撮影、撮影停止、電源の入／切、ズーム動作などを繰り返した場合の撮影時間です。実際には、これよりも短くなることがあります。十分に充電しても撮影できる時間が短くなったときは、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーに交換してください (P.14)。

本機は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。本機は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。この取扱説明書にしたがって正しく取り扱いをしてください。

他社製品の登録商標と商標について

・ Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
・ Macintosh、Mac OS は、米国 Apple Computer, Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。
・ その他、記載している会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。なお、本文中では、TM マークと ® マークを明記していません。

さくいん

アンケートおよびユーザー登録のお願い

このたびは、ビクター商品をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
今後のよりよい商品の開発に反映させるために、アンケートおよびユーザー登録にご協力をお願いいたします。

●下記アドレスのホームページより、ご回答ください。
http://www.victor.co.jp/reg/dvc/

※お客様の個人情報は当社の責任で厳重に管理し、お客様の同意なく、お客様の個人情報を第三者に提供または開示はいたしません。

商品についてのご相談や修理のご依頼は

お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記のご相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談 **ビクターサービスエンジニアリング** **(サービスセンター)**	お買い物情報や製品についての全般的なご相談 **お客様ご相談センター**
別紙の「ビクターサービス窓口案内」をご覧ください。	フリーダイヤル 0120-2828-17 携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は 電話：(03) 5684-9311 FAX：(03) 5684-9317 〒113-0033 東京都文京区本郷3-14-7　ビクター本郷ビル
本製品についての技術的なお問い合わせは **DVご相談窓口**	
電話：(045)450-2770	

ビクターホームページ

http://www.victor.co.jp/

日本ビクター株式会社

AV＆マルチメディアカンパニー

〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12

M5D2 NON-DSC　1204MKH-HT-VM